

「徳島県スポーツコミッション」について

令和3年 8月 5日
徳島県スポーツ推進審議会

地域スポーツコミッションとは

- **スポーツ庁が推進する「地域スポーツコミッション」**

スポーツと景観・環境・文化などの地域資源を掛け合わせ、まちづくりや地域活性化につなげる取組を推進する団体
(地方公共団体とスポーツ団体, 民間企業などが一体となった組織)



- **「地域スポーツコミッションの取組」**

スポーツと観光を組み合わせた「スポーツツーリズム」
域外から参加者を呼び込む「スポーツ大会・イベントの開催」
プロチームや大学などの「スポーツ合宿・キャンプの誘致」 など



- **全国の「地域」スポーツコミッション**

2021年7月時点で159団体 (本県では3団体)
→スポーツ庁では2021年度末までに170団体を目標としている



【第2期スポーツ基本計画】

◇「スポーツ全般を対象とする団体」

◇「特定の種目や大会を対象とした団体」 など, 特色がある

スポーツによるまちづくり・地域活性化活動支援事業

(前年度予算額 : 30,416千円)
令和2年度予算額 : 65,456千円

地方公共団体、スポーツ団体、民間企業（観光産業、スポーツ産業）等が一体となり、地域活性化に取り組む組織である「地域スポーツコミッション」等が行う、「**長期継続的な人的交流を図るスポーツ合宿・キャンプ誘致**」・「**通期・通年型のスポーツアクティビティ創出**」等の活動に対し引き続き支援を行い、「**スポーツによる持続的なまちづくり・地域活性化**」の促進を図る。

令和2年度は、東京2020オリパラ大会等を契機に各地に設立されている官民連携横断的組織の取組を、一過性のものとせず今後のレガシーとして残していくため、常設で通年型の取組を行う地域スポーツコミッションへ発展させるための支援を新たに行う。

「東京2020オリパラ大会」

ホストタウン登録された地方公共団体や「東京2020参画プログラム」に登録された取組等を行う組織を地域スポーツコミッションに発展させるための体制整備を支援。

ホストタウン等

関係者の合意形成、潜在コンテンツ掘り起こし、ニーズ把握調査等の取組を支援。

支援



スポーツ庁

支援

支援

実行委員会等

関係者の合意形成、潜在コンテンツ掘り起こし、ニーズ把握調査等の取組を支援。

「WMG2021関西大会」

事前合宿や「TSUNAGUプログラム」に登録された取組等を行う組織を地域スポーツコミッションに発展させるための体制整備を支援。

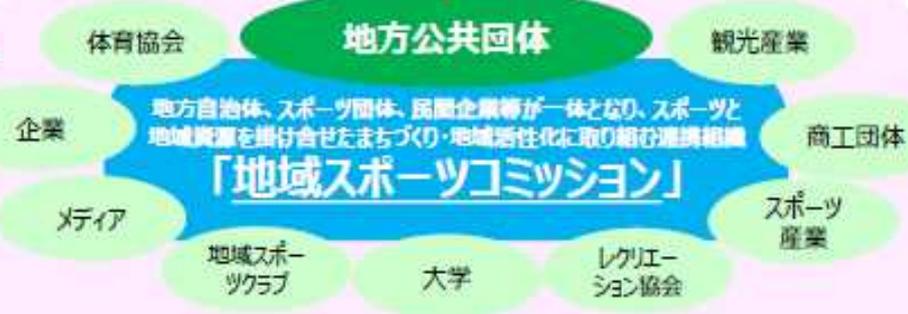
長期継続的な人的交流を図る「スポーツ合宿・キャンプの誘致」

地域の気候・環境・施設や、メガスポーツイベント等に向け構築された連携体制等を活用した取組を支援。



写真提供：佐賀県

写真提供：堺市



第2期スポーツ基本計画で掲げる、地域スポーツコミッションの設置数目標
56団体 (2017年1月) ⇒ 118団体 (2019年10月) ⇒ 170団体 (2021年度末目標)

恒常的なスポーツ誘客が可能な「通期・通年型スポーツアクティビティの創出」

自然環境を活かしたアウトドアスポーツや日本発祥の伝統文化である武道を活用した取組を支援。



写真提供：宮崎県

写真提供：みながみ町

【地域への社会的効果】

- スポーツのまちとしてのアウトブランディング、
- ローカルアイデンティティ・地域一体感の醸成
- 地域スポーツ人口・関心層の拡大
- 季節・年間を通じての誘客による、従事者の雇用安定

スポーツによる持続的なまちづくり・地域活性化へ

創出された優良事例を、全国へ横展開

【地域への経済効果】

- 合宿参加者・スポーツツーリストの滞在に係る消費（宿泊・飲食・観光・物販など）
- スポーツアクティビティの参加料収入

出典：スポーツ庁HP

徳島県の状況 (国際スポーツ大会)

2017

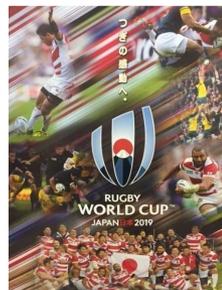
2018

2019

2020

2021

2022



ラフティング
世界選手権

ウエイクボード
世界選手権

ラグビーワールド
カップ2019

東京2020オリンピ
ック・パラリンピック

ワールドマスターズ
ゲームズ2021 関西

国内
初

アジア
初

アジア
初

聖火リレー
徳島：2021年4月15日-16日

アジア
初

吉野川中流域
(徳島県三好市)

池田湖
(徳島県三好市)

2019年 ジョージア「事前チームキャンプ」を実施!



2021年 東京2020オリ・パラ 3ヶ国7競技事前キャンプを実施!

2022年 WMG2021関西 5競技6種目 約4,200人来県!

効果

- 県民との交流イベントによるスポーツ機運の醸成
- 県内競技者との合同練習による競技力の向上
- スポーツ施設の充実や環境改善
- 地域経済の活性化



「徳島県スポーツコミッション」とは

組織

スポーツ大会やイベント、合宿の誘致、スポーツを通じた交流促進等による地域活性化と県外からの誘客を目指す官民一体型の専門組織。

地域におけるスポーツ振興、スポーツツーリズム推進のために、地方公共団体、民間企業（スポーツ産業、観光産業など）、各種団体等が連携・協働して取り組む。

役割

- ・スポーツ大会や合宿などの誘致や運営の支援
- ・利用者ニーズに対応するワンストップ窓口機能
- ・情報発信やP R活動など

スポーツ大会や
合宿の誘致

スポーツコミッション
(スポーツ団体, 観光団体, 経
済団体, 報道機関, 行政等)

スポーツ環境の整
備受入体制の構築

スポーツ
を通じた
地域
活性化

交流人口の拡大

地域経済への波及効果

地域の知名度向上

地域住民のスポーツ活動の活性化

「徳島県スポーツコミッション」の目的

- 三大国際スポーツ大会を通じて整備された練習環境と、受入ノウハウを、大会・合宿誘致やスポーツツーリズムに活用することで、「大会のレガシー」として発展・継承する
- 本県が有する優れた練習環境とともに、観光資源や食事、おもてなしなどの「本県の魅力」を体感いただくことで、数多くの選手が訪れる「スポーツ合宿の聖地」を目指す
- 「WITH・コロナ」時代の「新しい生活様式」に対応した、安全・安心な大会・合宿スタイルを検討し、実現することで「新時代のスポーツツーリズム」を牽引する。

スポーツによる新たな価値を創造することで、
「魅力ある徳島づくり」を展開し、地域活性化に繋げる

「徳島県スポーツコミッション」名簿

(R3.6.30)

分野	団体名	役職	氏名	備考
行政	徳島県	知事	飯泉 嘉門	会長
	徳島県市長会	会長	内藤 佐和子	
	徳島県町村会	会長	坂口 博文	
スポーツ	(公財) 徳島県スポーツ協会	副理事長	木下 慎次	副会長
	徳島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会	会長	新久保 眞度	
	徳島県障がい者スポーツ協会	会長	小谷 敏弘	
	NPO法人徳島県レクリエーション協会	会長	岡山 千賀子	
	徳島ヴォルティス(株)	代表取締役社長	岸田 一宏	
	(株)パブリックベースボールクラブ徳島	代表取締役	南 啓介	
	(株)ジェイテクト(ジェイテクトS T I N G S)	経営管理本部執行副本部長	立花 昭人	

分野	団体名	役職	氏名	備考
観光・宿泊	(一財) 徳島県観光協会	理事長	矢田 博嗣	副会長
	(一社) 日本旅行業協会中四国支部徳島地区委員会	委員長	杉田 弘樹	
	(一社) 日本旅館協会徳島県支部	支部長	梯 学	
	徳島県旅館ホテル生活衛生同業組合	理事長	森浦 源泰	
大学	徳島大学	学長	野地 澄晴	
	鳴門教育大学	学長	山下 一夫	
	徳島文理大学	学長	田村 禎通	
	四国大学	学長	松重 和美	
報道機関	(一社) 徳島新聞社	理事社長	米田 豊彦	
	日本放送協会徳島放送局	局長	表 聖司	
	四国放送(株)	代表取締役社長	岡元 直	
金融機関	(株) 阿波銀行	取締役頭取	長岡 奨	
	(株) 徳島大正銀行	取締役頭取	板東 豊彦	

短期・中長期戦略に基づく取組状況

短期戦略

中長期戦略



• スポーツコミッションの**設立**

- 総会 (R2.8.3)
- 幹事会 (R2.9.2)

• 総会・幹事会の**開催**

第2回：書面開催

- 事業計画・補正予算（案）
- 事業実施方針に対する意見聴取

• スポーツ大会・合宿への**支援** ／**サポート体制強化**

- 「新しい生活様式」への対応を支援
- モニター合宿の実施
- 練習施設・宿泊施設受入側向け講習会の実施
- 合宿助成制度の創設

• スポーツ大会・合宿の **誘致戦略構築**

- 誘致競技や戦略を検討

徳島県スポーツコミッション事務局組織図

＜事務局長＞ 徳島県未来創生文化部 副部長

＜事務局次長＞ 徳島県未来創生文化部スポーツ振興課 課長

【企画担当】

- ・スポーツを活用した交流人口の拡大、地域活性化策の検討
- ・スポーツツーリズム推進に関する戦略の策定
- ・スポーツコミッション会議の招集、運営

＜事務局次長＞ (公財)徳島県スポーツ協会 事務局長

【大会・合宿誘致担当】

- ・大会や合宿の誘致活動
- ・大会や合宿誘致に関する窓口機能
- ・大会や合宿誘致に関する広報活動
(HP運営、パンフレット作成など)
- ・合宿誘致に関する助成金の支給
- ・感染症対策備品の貸出や施設運営を通じた大会や合宿の開催支援

令和3年度 事業計画

1 スポーツ大会・合宿の誘致

- ・ワンストップ窓口を設置
- ・パンフレットやホームページの作成による情報発信
- ・誘致アドバイザーによる誘致活動

2 スポーツ大会・合宿への支援

- ・感染症対策支援備品の運用

3 助成制度の制定

- ・スポーツ合宿を対象

令和2年度事業実績

1. 「モニター合宿」の実施
2. 感染症対策物品の整備・貸出
3. W I T H・コロナ時代における
「講習会」の実施

新たなスポーツ大会・合宿スタイルの確立

1. 「モニター合宿」の実施

WITH・コロナ時代に対応した合宿を支援

- 県内の高校男子ハンドボール部や大学女子ラグビー部の合宿
- 「新しい生活様式」や競技毎の感染防止対策ガイドラインに則って実施
- 参加者アンケートから課題把握、解決に向けて検討



◆ 3/13、14 男子ハンドボール部
約70人参加

高校ハンドボール部のモニター合宿

2021年3月13、14日 於 アミノバリューホールほか

〈徳島市立高校・徳島科学技術高校・城南高校の3校参加〉



モニター合宿「新型コロナウイルス感染症防止対策マニュアル」を作成

安全・安心なスポーツ合宿に向けたモニター合宿
～新型コロナウイルス感染症防止対策マニュアル～

ハンドボール編
2021.03.13 (土) -14 (日)



徳島県スポーツコミッション 徳島県ハンドボール協会

目次	
1. 目的	2
2. 概要	2
3. プログラム	3
4. 名簿	4
5. 場面ごとの感染防止対策	7
(1) 事前	7
(2) 移動	8
(3) 練習	9
(4) 宿泊	11
6. 新型コロナウイルス感染症患者発生時の対応	13
7. 体調管理チェックシート	14

5. 場面ごとの感染防止対策 (2) 移動

(2) 移動

基本原則	内容
① 行動管理	<input type="checkbox"/> 衛生管理責任者は、参加者が感染防止対策を徹底するよう、行動を管理する。
② 体調管理	<input type="checkbox"/> 衛生管理責任者は、移動中に体調不良者が発生した場合、周辺のを「補助席」へ移動させる。 <input type="checkbox"/> 衛生管理責任者は、必要に応じて、目的地到着後に保護者等へ連絡し、体調不良者を帰宅させる。
③ フィジカルディスタンスの確保 (できるだけ2m、最低1m)	<input type="checkbox"/> バス荷物庫への荷物の積み込みは、参加者が事前に荷物庫前に1人ずつ荷物を置き、全ての荷物を置き終わった後に、運転手が積み込みを行う。 <input type="checkbox"/> 下ろす際は、運転手が全ての荷物を下ろした後に、参加者が1人ずつ受け取る。 <input type="checkbox"/> バスの座席は、常に同じ席を使用する。 <input type="checkbox"/> バスの乗り降りは、距離を取りながら行う。
④ マスクの着用	<input type="checkbox"/> バス乗車中は、飲食時を除いて、常に「マスク」を着用する。 ※ 飲食中の会話はしない。
⑤ 手洗い/手指消毒	<input type="checkbox"/> バスへの乗車前と下車時に、手指消毒を行う。
⑥ 物經由の感染防止	<input type="checkbox"/> 水分補給ボトル、タオル等を共用しない。 <input type="checkbox"/> ゴミは、車内に残さず、練習施設または宿泊施設のゴミ箱へ捨てる。
⑦ 環境整備 (徳島県スポーツコミッション)	<input type="checkbox"/> 運転席との間にパーテーションを設置する。 <input type="checkbox"/> バス出入口に消毒液を設置する。 <input type="checkbox"/> 参加者の乗車前に窓を開放し、換気を行う。



モニター合宿「新型コロナウイルス感染防止対策マニュアル」に基づき行動



◆バス車内
座席位置、移動中の対策



◆バス乗降時
◆荷物積み込み・荷下ろし



◆練習時 ミーティング

フィジカルディスタンスの
確保



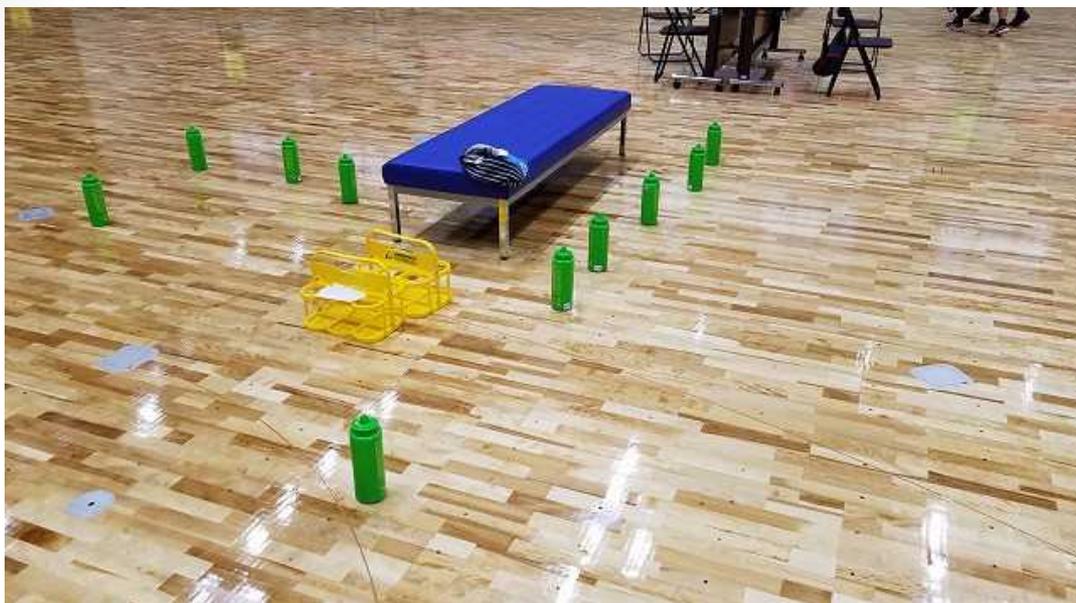


・食事受取配付時の
手指消毒、
手袋着用

◆練習施設
食事・休憩時



・フィジカルディスタンスの確保
・会話の制限



- ◆練習中の給水
- ・個別の専用ボトル使用

◆宿泊施設

食事における対策

- ・パーティション設置
- ・会話の制限



2. 感染症対策物品の整備・貸出

大会・合宿主催者への貸出しによる支援

- サーモグラフィカメラ（手指消毒液噴霧機能付き）
- 非接触型体温計
- 飛沫防止パーティション
- ハンズフリー拡声器
- アルコール消毒液スタンド など



3. WITH・コロナ時代における「講習会」の実施

合宿等受入施設における感染予防の現地研修

- 2021年3月14日（日）
 - 午前の部 練習施設講習（鳴門・大塚スポーツパーク）
 - 午後の部 宿泊施設講習（ホテルサンシャイン徳島）
- 講師 倉敷中央病院 呼吸器内科部長 時岡 史明氏
（株）ランブリッジ 代表取締役 余吾 由太氏
- 参加者 延べ27人（午前・午後の部）
- 現地研修 場所・場面ごとの感染予防
トレーニング・食事・宿泊・風呂等



実地研修による感染予防講習会①

2021年3月14日 於 鳴門・大塚スポーツパーク



◆実地研修前の趣旨説明

◆トレーニング室

トレーニング前後、トレーニング中の対策



実地研修による感染予防講習会①

2021年3月14日 於 鳴門・大塚スポーツパーク



◆アミノバリューホール（体育館）
練習・集合の場面における対策

◆2F 観覧席
休憩、食事の場面における対策

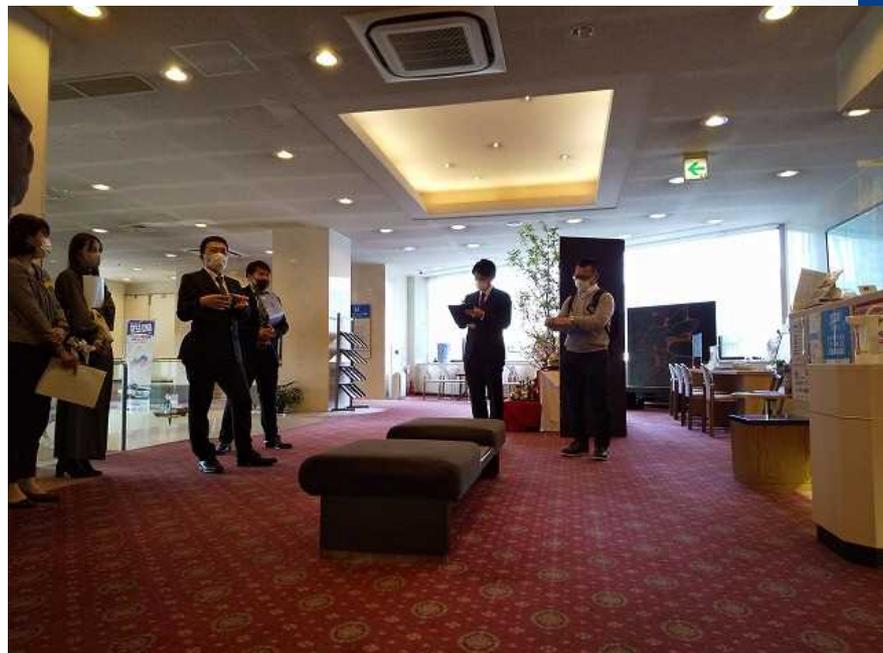


実地研修による感染予防講習会②

2021年3月14日 於 ホテルサンシャイン徳島



◆エレベータ
移動時、エレベータにおける対策



◆フロント・待合席
受付、荷物受け渡しにおける対策

実地研修による感染予防講習会②

2021年3月14日 於 ホテルサンシャイン徳島

◆レストラン

食事会場入口における対策



自動消毒液噴霧器・検温センサー

玄関マット

実地研修による感染予防講習会②

2021年3月14日 於 ホテルサンシャイン徳島



◆客室
利用時（就寝・部屋のゴミ等）の対策



◆大浴場
脱衣所・浴場における対策